

●お知らせ●

2006年4月より、総合情報センターが発展的に解消され、図書館利用や学術データベースに関することは、図書館サービス課が、RAINBOWの利用に関することは情報システム課が担当します。これまで以上に正確・迅速かつユーザーフレンドリーなサービスをめざしますので、みなさま積極的にご活用ください。

各種、利用ガイドをご紹介します。

RAINBOW GUIDE

RAINBOW GUIDE 2006

RAINBOW や図書館などの施設・サービスを利用するための手引きとなるのが、「RAINBOW GUIDE」です。RAINBOW への接続方法や各サービスの案内、施設利用方法などを掲載しています。

RAINBOW GUIDE for Teachers 授業での活用に向けて

RAINBOW や図書館サービスについて、先生方が授業で活用するための手引きとなるものです。教室での情報設備の利用方法や、学術情報設備の利用方法を詳しく説明しています。また、「ビデオやDVDを使った授業をしたい」「データベースを検索させたい」といった、先生方のニーズに応じたサービス内容を紹介しています。

RAINBOW GUIDE UNIX 操作入門編

びわこ・くさつキャンパスでは、全ての教室・マルチメディアールームのパソコンには、Linux (UNIX 互換 OS) を導入しており、パソコンの起動時に OS を選択することができます。詳しい利用方法はこちらをご覧ください。生協にて販売しております。

わたしたち、困っています!

RAINBOW STAFF の協力を得て作成された冊子で、プラズマディスプレイ、パワーポイント、小テスト、補助教材などの使い方や作成方法について、学生から先生へ具体的な改善提案をまとめていますので、日々の授業改善にお役立てください。

●大学コンソーシアム京都 共通閲覧システム開始について(お知らせ)●

従来、他大学図書館の所蔵資料の閲覧利用の際には、所属大学の図書館で発行された紹介状を持参する必要がありましたが、共通閲覧システムの開始により、加盟館の所蔵資料を閲覧する場合には、所属大学の図書館での手続きを経ずに、簡便に直接閲覧に行くことができるようになりました。

この共通閲覧システムは、身分証(学生にあっては学生証、教職員にあっては教職員証)等の提示のみで、大学コンソーシアム京都に加盟する大学図書館および短期大学図書館が所蔵する資料の閲覧を中心に利用できる制度です。参加する各大学図書館の蔵書数や特色を生かし、教育・研究の活性化および利用者サービスの向上を図ることを目的としています。

本学は大学コンソーシアム京都へ加盟しております。共通閲覧システムを教育・研究・学習にお役立てください。

問う合はし覧

キャンパスネットワーク利用全般についてのお問い合わせ、RAINBOW 全体の運用管理は情報システム課が行っています。

■情報システム課の窓口■

場 所: 衣笠キャンパス (有心館1階) びわこ・くさつキャンパス (アクロスウィング2階)
日 時: 平日の9:00~21:30
内 容: RAINBOW 関連申請受付、各マニュアルの配布、RAINBOW STAFF による利用相談、パスワードの再発行

■図書館の利用に関してのお問い合わせ■

・衣笠図書館.....TEL. 075-465-8217 / メールアドレス library@st.ritsumeai.ac.jp
・修学館リサーチライブラリー.....TEL. 075-465-8248 / メールアドレス shugaku@st.ritsumeai.ac.jp
・人文系文献資料室.....TEL. 075-465-8199 / メールアドレス bunken@st.ritsumeai.ac.jp
・メディアセンター.....TEL. 077-561-2634 / メールアドレス media@st.ritsumeai.ac.jp
・メディアライブラリー.....TEL. 077-561-3943 / メールアドレス medialib@st.ritsumeai.ac.jp



立命館大学 図書館だより 102号

発行 2006年3月

編集発行 立命館大学 情報システム課 図書館サービス課

〒603-8577
京都市北区等持院北町56-1
TEL 075-465-8217
FAX 075-465-8252
http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/mr/lib

立命館大学

図書館だより

旧 総合情報センターだより

ISSN 1345-3343

Rits
立命館大学

102号
2006年3月

CONTENTS

巻頭言.....1

図書館部門

図書館サービスの紹介.....2

- ・研究・授業に役立つ様々なガイダンスを随時開催しています! (教員対象)
- ・MyLibrary (web図書館) はこんなに便利です!
- ・立命館大学で活用できるデータベース一覧
- ・レファレンスライブラリアンが常駐しています
- ・図書館相互利用のご案内 (本学専任教職員対象)
- ・図書館文献複写代行サービス (専任教員のみ) を実施しています

図書館開設 100周年記念
シンポジウム・展示会報告.....5

貴重資料紹介: コレクション.....6

情報システム部門

1. 立命館総合情報システム「RAINBOW」の紹介.....7

- ・RAINBOWサービスを利用するためには
- ・ネットワークへの接続について
- ・視聴覚効果の高い授業ができます
- ・授業支援ツール
- ・QRコード
- ・視聴覚資料・機材の貸出サービスを行っています
- ・コンテンツ作成にご活用ください

2. 2006年4月からのRAINBOW新環境.....10

- ・非常勤講師の方々のメールアドレス学部ドメインを統合します
- ・所属変更に伴ってドメインが変更になります
- ・フルドメインをつけてメール送信を行ってください
- ・メールサービスの機能が充実します
- ・ホームディレクトリ、教材フォルダの容量が増えます
- ・情報教室の端末台数が増えます
- ・2006年度末、PPP接続サービス終了のお知らせ

Information.....12

新しく立命館大学の構成員となられた新生、新任教員の皆さんへ

立命館大学の図書館は、昨年開設100周年を迎えました。図書館は学生の学習の場として、また教職員の教育研究や利用者すべての教養と情報獲得の場としての役割を果たしています。

現代の学生・教員にとって、コンピュータや図書や雑誌などの学術情報は豊かな学習や研究を進めるうえで、必要不可欠な要素です。皆さんは大学での学習や研究についても色々な期待を抱いておられると思います。本学の諸図書館、学術情報システム「RUNNERS」や統合情報システム「RAINBOW」はその期待に充分お応えできるものです。

本学の図書館機能を担う施設には、衣笠キャンパスに図書館と修学館リサーチライブラリー、人文系文献資料室びわこ・くさつキャンパスにメディアセンターとメディアライブラリーがあります。また立命館アジア太平洋大学にはAPUライブラリーがあります。3キャンパスをあわせれば蔵書は250万冊を越え、このほかに雑誌や新聞、また電子ジャーナルを含む多様な学術情報データベースを有しています。これらの学術情報は、インターネットを介して自宅や下宿からも文献の所在調査や情報検索、資料の入手ができます。

一方、学内には約4,500台のコンピュータがネットワークに接続されており、電子メールや電子掲示板、またインターネットを利用することができ、ネットワークを介して様々な情報収集や情報発信ができます。

今日の情報化時代において、図書館の果たす役割はますます重要になっています。本学図書館においても、時代のニーズに応えることができるよう、利用者によりよい図書館サービスを提供できるように努めています。

皆さんがこのような学術情報や情報システムを積極的に活用され、充実した学習や研究生生活を送られることを希望します。

立命館大学図書館長 上田 寛



図書館サービスの紹介

研究・授業に役立つ様々なガイダンスを随時開催しています！（教員対象）

クラス対象出張ガイダンス (理工・情報理工学部除く) ※2005年度までのSTEP UP セミナーと同様の内容です。	ゼミの講義テーマに沿った図書資料の探し方や学術情報の検索方法をご案内いたします。RUNNERS（本学蔵書検索システム）やNACSIS-Webcat（他大学蔵書の検索）、その他データベースなど、実際にパソコンを使った実習形式で説明します。
データベース講習会	図書館が提供する各種データベースの利用法・活用法を紹介いたします。国内・海外の図書・雑誌論文記事から、法令情報や統計情報を活用できるデータベースを紹介します。（⇒本学で提供しているデータベースはp.3参照）
教員対象出張ガイダンス (要 予 約)	学術情報ツールやデータベースの利用方法等について各学部共同研究室、修学館リサーチライブラリー（衣笠キャンパス）、メディアセンター・メディアライブラリー（びわこ・くさつキャンパス）などで説明します。
館内ツアー	修学館リサーチライブラリーツアーや人文系文献資料室ツアー（以上衣笠キャンパス）、メディアセンター・メディアライブラリーツアー（以上びわこ・くさつキャンパス）をクラス単位で実施しています。

各種ガイダンスの申込方法

■クラス対象出張ガイダンス（理工・情報理工学部除く）

※2005年度までのSTEP UP セミナーと同様の内容です。
申込用紙、案内を事前に配布いたします。申込用紙に記入の上、図書館サービス課へ送付をお願いします。

■教員対象出張ガイダンス【対象：専任教員】

希望する日時、要望事項、所属、氏名、連絡先を下記までお知らせください。

《衣笠キャンパス》

電話：075-465-8248 (内線：2499)

FAX：075-465-8221 (内線：2555)

Mail：reslib@st.ritsumei.ac.jp

《びわこ・くさつキャンパス》

電話：077-561-2634 (内線：7203)

FAX：077-561-3979 (内線：7218)

Mail：media@st.ritsumei.ac.jp

■館内ツアー

申込用紙、案内を事前に配布いたします。申込用紙に記入の上、図書館サービス課へ送付をお願いします。



MyLibrary (Web図書館) はこんなに便利です！

2004年度より、MyLibrary (web 図書館) のサービスを開始しました。MyLibrary 機能を使えば、貸出延長等の手続きを始め、下記のようなことができます。ぜひご利用ください。

MyLibraryで出来ること

- ① web 上で貸出中資料の延長手続きができます。
- ② 本学が契約している電子ジャーナルの中から、オリジナルのリストを作成できます。
- ③ 横断検索で、複数のデータベースを同時に検索できます。
- ④ よく使うインターネットサイトの URL を登録して、自分だけのリンク集を作成できます。



利用には、RAINBOW ID・パスワード (p.7 参照) が
必要になります。

2006年度より MyLibrary 新サービスがスタートします。

2006年度より、MyLibrary から、**図書の購入リクエスト・学外文献取寄せ ILL (Inter Library Loan)**を行なうことが出来るようになりました。(学外文献取寄せ ILL は、教員のみ対象)

手続き方法

MyLibrary にログイン→「図書館サービス」より必要事項を記入いただき手続きが可能です。

皆様のご利用をお待ちしております。

※上記 MyLibrary 画面は 2006 年 3 月現在のものです。
サービス変更に伴い若干の画面変更がある場合があります。予めご了承ください。

立命館大学で活用できるデータベース一覧

本学図書館では、下記のように様々なデータベースを取り揃え学習・研究を支援できるよう努めています。

	学 内		国 内	
	学 内	学 内	国 内	国 内
図書や雑誌を探したい	立命館大学、立命館アジア太平洋大学で所蔵する資料を探す	RUNNERS OPAC	企業・財務情報	日経テレコン 21
	1986 年以降に刊行された和書の目次や内容から所蔵を確認する	和書コンテンツデータベース	AERA、週刊朝日等	開蔵 (きくぞう)
	外国雑誌の目次情報を検索する	洋雑誌コンテンツデータベース	学協会発行の学術雑誌	CiNii
	他大学図書館や研究所等		日経 BP 社発行雑誌のバックナンバーの全文記事検索	日経 BP 記事検索
判例を調べたい	全国の大学図書館の所蔵情報	WebcatPlus	国内マクロ経済、株式、企業財務、地域経済、銀行財務等が検索可能。洋雑誌の論文タイトル	社会科学情報検索 洋雑誌コンテンツデータベース
	海外の大学図書館の所蔵情報	OCLC FirstSearch	自然科学分野とビジネス関連記事	DialogSelect
	日本の法令・判例文献全文を収録した法律情報データベース	1. LEX/DB INTERNET 2. 判例体系・法律判例文献情報 3. 現行法令 Web システム	人文、社会、自然科学等全分野にわたる記事検索	1. ProQuest 2. LEXIS-NEXIS (Academic)
	世界各国の法令・判例文献全文を収録した海外法律情報データベース	1. LEXIS-NEXIS (lexis.com) 2. LEXIS-NEXIS (Academic)	Elsevier 社が発行するオンライン出版物サービス。全文タイトルはこちら	ScienceDirect
辞書・辞典を調べたい	小学館が刊行する百科事典、各種辞書、用語集やデータ、ビジネス情報源などの検索	JapanKnowledge	社会科学、自然科学、人文科学のデータを収録。論文間の引用情報を利用	ISI Web of Science
	新聞記事を探したり国内外のニュースを読みみたい		OECD 出版物と統計資料がオンラインで提供され、資料の全文や要約が閲覧できる	SourceOECD
立命館大学での研究内容について調べたい	朝日新聞（本紙、地方版）の全文データベース	開蔵 (きくぞう)	約 15,000 タイトルのコンテンツ・データを収録した二次資料オンライン・データベース。フル・テキストへのリンクは約 1,000 タイトル	SwetsWise
	日経 4 紙の新聞記事検索	日経テレコン 21	Mathematical Review のオンライン全文情報	MathSciNet
	世界各国の新聞記事検索	1. LEXIS-NEXIS (lexis.com) 2. LEXIS-NEXIS (Academic) 3. DialogSelect	情報・電気・電子工学分野における世界最大のデータベース	IEL Online
	本学教員の研究活動紹介	研究者学術研究情報データベース	Oxford University Press 社が発行するオンライン出版物サービス。	Oxford University Press オンラインジャーナル
「コンテンツ情報」	前年度の研究活動の記録	立命館大学学術年鑑	John Wiley & Sons 社が発行するオンライン出版物サービス	Wiley InterScience オンラインジャーナル
	連合軍の占領統治組織 GHQ/SCAP が残した文書の検索	GHQ Data Base Server	JSTOR が提供する海外学術雑誌バックナンバーのオンライン・サービス	JSTOR Collection
	第一次世界大戦戦後処理のために開催された「パリ講和会議」の資料の検索	パリ講和会議資料データベース	原子力の平和利用に関する科学技術情報	INIS データベース
	立命館大学情報システム課が所蔵する視聴覚資料の一覧	視聴覚資料一覧	国 内	
			科学技術、医学に関する学術論文や解説的記事などの文献検索	JDream
			人文社会系の年次研究報告書や学術論文集、一般誌、総合誌、ビジネス誌の記事検索	MAGAZINEPLUS
			海 外	
			人文社会、社会科学、新聞、雑誌など世界最大の書誌データベース	OCLC FirstSearch
			Inter-university Consortium for Political and Social Research (ICPSR) が所蔵する機械可読データ。社会学、政治学、国際関係、経済、教育、法律に関わる世界中の膨大な調査データを網羅	ICPSR

データベースの利用方法をわかりやすくまとめたパンフレットを下記場所に用意しています。

(衣笠キャンパス)

修学館リサーチライブラリー 1 階 レファレンスカウンター

(びわこ・くさつキャンパス)

メディアセンター 1 階 レファレンスカウンター

また、各図書館にレファレンスライブラリアンが常駐しています。データベースの利用に関することなら何でもご相談ください。お待ちしております。

レファレンスライブラリアンが常駐しています

衣笠図書館、修学館リサーチライブラリー（以上衣笠キャンパス）、メディアライブラリー、メディアセンター（以上びわこ・くさつキャンパス）のカウンターにはレファレンスライブラリアンが平日9：00～19：30（修学館リサーチライブラリーは9：00～20：00）まで常駐し、学習・研究活動をサポートしています。

レファレンスライブラリアンとは？

日々進歩するデータベースの世界。私たちは「データベースを駆使して文献を探す」ことで研究支援を行います。言ってみれば“デジタル時代の専門的ライブラリアン”です。私たちをぜひ活用してください。

学内在籍の方なら誰でも無料で自由に使えるコアデータベースは大変便利なツールです。本学では、多種多様なデータベースを用意しています（図書館ホームページ→「データベース検索」参照）。日々の研究活動に役立てて頂きたいと思ひます。データベースの利用について不明な点等あれば、私たちにご相談ください。教授会や研究会での講習会のご要望もおよせ下さい。もちろんデータベース以外の相談も大歓迎です。メールでの質問も受け付けています。

（アドレスは <http://www.ritsumei.ac.jp/acd/mr/lib/sogo/refsrv.htm> をご参照）。



図書館相互利用のご案内（本学専任教職員対象）

1. 京都四大学図書館の相互利用

同志社大学・京都産業大学・龍谷大学の各図書館を利用する場合、教職員証を提示することで資料の閲覧や文献複写ができます。

- 本学の専任教職員に限り、教職員証を提示するだけで図書館に直接入館し、図書資料等の閲覧および文献複写ができます。ただし、資料の取置き（リザーブ）や館外貸出は行っていません。来訪に際しては、各大学図書館の蔵書検索システムで事前に所蔵確認を済ませておくことをお勧めします。
- 来訪先の図書館カウンターで資料の取置き（リザーブ）を希望する場合は、いままで通り事前の所蔵調査に基づく資料閲覧紹介状が必要となります。詳しくは、図書館の各カウンターにお問い合わせください。
- 同志社大学の今出川校地図書館、京田辺校地ラーネット記念図書館については、「関西四大学図書館相互利用協定（下記2.）」に基づいて、館外貸出も受けられます。詳しくは、各館のサービスカウンターにお問い合わせ下さい。

2. 関西四大学図書館の相互利用

関西四大学（同志社大学・関西大学・関西学院大学）の各図書館を利用する場合、教職員証を提示することで資料の閲覧や文献複写、館外貸出などのサービスが受けられます。

※これらの相互協力制度のほか、「私立大学図書館協会西地区部会京都地区協議会共通閲覧証協定」などもあります

図書館文献複写代行サービス（専任教員のみ）を実施しています

研究者サービス強化の一環として、専任教員に対する学内所蔵資料の文献複写サービス（コピー作業の代行）を実施しています。どうぞご活用ください。なお、このサービスは著作権法および関係法令が定める範囲内となります。詳細は図書館ホームページ <<http://www.ritsumei.ac.jp/acd/mr/lib/sogo/copy/res-copy.htm>> をごらんください。

各館のカウンターまたはEメール・FAXで複写（コピー）申込み

Eメール書式 <http://www.ritsumei.ac.jp/acd/mr/lib/sogo/copy/mail-order.htm>

FAX書式 <http://www.ritsumei.ac.jp/acd/mr/lib/sogo/copy/fax-order.pdf>

1枚20円（見開き単位）＋1論文につき50円（研究校費に基づく複写料金の売掛精算は行っていません。個人研究資料費等による立替払いをご希望の場合には、領収書を発行します。）

図書館開設100周年記念シンポジウム・展示会

このたび開設100周年の記念事業として、「大学図書館の未来、本の未来」と題した記念シンポジウムや、「白川静と立命館」記念展示会を衣笠キャンパス、びわこ・くさつキャンパスおよび福井県立図書館で開催しました。（シンポジウム：11/25 衣笠キャンパス、展示会：11/15～23 福井県立図書館、11/28～12/6 衣笠キャンパス、12/9～17 びわこ・くさつキャンパス）。

多数の方に、ご来場頂き盛会裏に終えることができました。

記念シンポジウム

シンポジウムの前半は、「これからの図書館」と題して、独立行政法人情報通信研究機構理事長で日本図書館協会会長（前京都大学総長）の長尾真氏にご講演いただき、現在の図書館における問題として図書館予算が減少している点や資料の形態が多種多様になっている点などを挙げられたうえで、今後の図書館の方向性として、「教育における図書館利用の促進」「電子図書館のこれから」「資料の体系的収集の必要性」について、いくつかの提案がありました。

後半は、立命館大学図書館長の水口憲人氏（法学部教授）をコーディネーターに、長尾氏、伊藤義人氏（名古屋大学附属図書館長）、長野由紀氏（国際基督教大学図書館長）、松田哲夫氏（筑摩書房専務取締役）をパネリストに迎え、「大学図書館の未来、本の未来」について、パネルディスカッションが行われ



れました。パネルディスカッションでは「IT化の進展の中で大学図書館は、これからどのように変化し、どう対応していくのか」「学生・研究者にとって、必要性の高い図書館サービスは何か。それをどのように提供していくのか」「多様化する学術情報と資料のデジタル化に大学図書館はどのように対応していくのか。また資料費の高騰にどのように対処するのか」等々について活発な議論が展開されました。

展示会

11月28日には、白川静先生が展示資料を1時間以上にわたって熱心にご覧になり、自身の研究にまつわるエピソードを語られました（写真A）。また会場には、「若い人に親しみやすくしたい」という先生のご希望により、漢字の成り立ちをタッチパネルを使って紹介したものが設けられ、来場者の方にはわかりやすいと好評でした（写真B）。

展示会に訪れた来場者より「白川先生の研究活動の一端を垣間見ることが出来、改めて漢字文化圏全体にわたる壮大な研究成果がうかがえた。」「長い年月をかけて地道に積み上げられた膨大な研究活動の蓄積を実感できた。」などの感想が寄せられました。



▲写真A



▲写真B

貴重資料紹介：コレクション

下記に本学の貴重資料の一部をご紹介します。この他にも、詞学文庫、高木文庫、米国マルクス主義研究所旧蔵書、パリ講和会議コレクションデータベース等があります。ぜひご利用ください。

- * 詳しくは各館カウンターで、又は図書館 HP：<http://www.ritsumei.ac.jp/acd/mr/lib/lib/j/collection-j.htm> をご覧ください。
- * 詞学文庫、高木文庫の利用については、人文系文献資料室にお問い合わせください。
(高木文庫の利用法は、http://www.ritsumei.ac.jp/acd/cg/lt/cl/intro/takagi_b.htm を参照ください。)

立命館文庫	本学教職員・大学院生・学生及び校友の著作（訳本を含む）、図書資料を集めたもの。毎月、図書館が受け入れたものをご紹介します。
末川文庫	末川博名誉総長の蔵書 1 万 2 千余点を所蔵しています。ここには、末川博先生の全著作はもちろん、大正から昭和期の民法学の著作がほとんど揃っています。また、図書・逐次刊行物のほかに諸資料として、手稿類・遺品なども納められています。所蔵資料の詳細は「立命館大学図書館蔵末川文庫目録」をご覧ください。蔵書の大半は先生の研究・教育上必要な資料ですが、そうして集められた資料の中には他では失われてしまいここにしか残っていないものもあります。また、洋書の中には留学中に入手された貴重な古書も含まれています。
西園寺文庫	1869 年西園寺公望は京都御所内の邸に家塾「立命館」を開きましたが、間もなく太政官の命により閉鎖。1900 年中川小十郎が創立した「私立京都法政学校」が、1905 年「立命館」の名称を継承しました。西園寺文庫には西園寺家伝来の資料、公望自身が収集した資料、公望宛寄贈された資料、後日本学が補充購入した資料からなります。図書・逐次刊行物のほか、書簡などの文書も含まれています。詳しくは「立命館大学図書館蔵西園寺文庫目録」をご覧ください。
白楊荘文庫	故小泉荃三教授が収集した歌集および関連する新聞・雑誌類 4600 余点を納める。明治・大正から昭和 20 年代までの資料が体系的に収集され、このコレクションを基礎として執筆された「明治大正短歌史料大成」は当文庫の解説書でもある。与謝野晶子・鉄幹の著書や、「明星」「スバル」など近代文学研究にとって貴重な資料が含まれている。
加古文庫	加古祐二郎教授は 1937 年 33 歳の若さで永眠されましたが、正味 5 ～ 6 年と言われる短い研究生活の中で精力的に研究しその成果を発表しておられました。先生の蔵書は、専門であった法哲学関係の文献の他、国家論・政治学・社会学など各分野の優れた資料が集められていたもので、1300 余点が 1942 年、本学に寄贈されました。広小路キャンパス時代には、「私が立命館に赴任したとき、まず訪れたのは図書館の一角にまとめられた加古文庫である」（『加古文庫に憶う』天野和夫著、図書館だより第 5 号 1975 年掲載）とあるように、比較的オープンな場所にあつて多くの研究者・学生がこの蔵書に接し、刺激を受けた研究を深めていたことと思われます。
船山信一旧蔵書	船山信一名誉教授は、生前 1982 年 74 歳の時にその蔵書の大半約 3000 点を本学に寄贈してくださいました。先生の専門としては先ずヘーゲル、フォイエルバッハ、唯物論、そして明治から戦前に至る日本思想史があげられます。この蔵書にはこれら専門分野の資料が多数納められています。なお、先生の著作は「船山信一著作集」全 10 巻として、こぶし書房より刊行された。
原随園旧蔵書	古代ギリシア史を専門とする先生の蔵書は約 6000 冊。内 2000 冊が洋書で、大別すると、ギリシア・ローマの古典のテキストとその現代語訳、ギリシア・ローマ史関係の研究書、それ以外の西洋史関係の書物に分けられます。また、4000 余冊の和漢書は、西洋史関係の他、東洋史・日本史・考古学・人文地理関係、また各種全集、叢書、辞典類など多岐にわたっています。詳細は「立命館大学図書館蔵原随園博士蔵書目録」をご覧ください。なお、この目録に掲載の資料は RUNNERS には登録されていないので、OPAC（蔵書検索システム）では検索できません。ご利用に際しては上記目録で確認の上、カウンターにお申し出下さい。



▲比島調査報告 比島軍政監部 1943（末川文庫）



▲雑誌明星の原本（白楊荘文庫）

1. 立命館統合情報システム「RAINBOW」の紹介

立命館大学では、全学の情報教育や研究活動の支援のための情報基盤として、立命館統合情報システム＝RAINBOW（Ritsumeikan Academic Information Network Bridging Our World）を整備しています。立命館の学生、教職員は RAINBOW を使ってさまざまなサービスを利用することができます。RAINBOW GUIDE、ホームページで詳しく掲載している内容を、ここではピックアップしてご紹介します。



RAINBOW サービスを利用するためには



RAINBOW の情報機器や各種サービスを利用するためには、その利用資格を証明するユーザー ID とパスワードが必要です。RAINBOW ID とパスワードは個人が責任をもって管理・使用してください。RAINBOW ユーザー ID 通知書を受け取ったら、パスワードは直ちに変更してください。

RAINBOW ユーザー ID に関する詳しい説明は、『RAINBOW GUIDE 2006』11 ページをご覧ください。

ネットワークへの接続について

個人研究室からネットワークに接続したい!

各個人研究室には、ネットワークに接続するための情報コンセントが設置されており、お手持ちのパソコンをネットワークに接続することができます。ネットワークへの接続を希望される方は、情報コンセント利用のための申請（IP アドレス登録申請）が必要となりますので、RAINBOW ホームページをご覧ください。情報システム課までお問い合わせください。



アクセス方法:

「RAINBOW ホームページ」(URL) <http://www.ritsumei.ac.jp/acd/mr/i-system/> → 「教職員専用のページ」

学内のどこでもインターネットにアクセスできます!



キャンパス内に設置されたアクセスポイントと、無線 LAN カード等を装備したパソコンを使って、コードレスで学内 LAN にアクセスできます。無線 LAN に対応したノートパソコンを持ち込めば、ネットワークに接続することができますので、講義の中でインターネット上の情報を教材として活用したり、データベースの検索を行うことができます。



セキュリティ対策が義務化されています!!

立命館情報システム利用規程により、セキュリティ対策が義務化されました。

本学では、コンピューターウィルス対策やセキュリティホール（脆弱性）対策が講じられていないコンピューターは、ネットワークの利用を停止する場合があります。また、コンピューターウィルス感染や不正アクセスなどが発生した場合、該当するコンピューターのネットワーク利用を停止するほか、被害拡大を防止するために建物全体やキャンパス全域のネットワークを停止する場合があります。

立命館情報システム利用規程は、『RAINBOW GUIDE 2006』、RAINBOW ホームページに掲載しています。

視覚効果の高い授業ができます

学内のすべての教室に大型プラズマディスプレイ（一部高輝度DLPプロジェクターまたはRGBモニター）を設置しています。

一般教室の設備を活用して、次のようなことが実現できます！

■ ノートパソコンの画面を学生に見せたい

→ノートパソコンの画面をプラズマディスプレイに映し出すことで、インターネットで収集した資料やノートパソコンで作成したレジュメ、パワーポイントの画面を見せながらのプレゼンテーションをすることができます。

■ 大教室で板書が見つらい教室で板書を見やすくしたい

先生の顔をディスプレイに映し出し、後方の席でも臨場感ある授業にしたい（衣笠キャンパスのみ）

→教卓付近を映すカメラで、板書や先生の顔を映し、プラズマディスプレイに映し出すことができます。

■ レジュメや参考資料を見せたい

→教材提示装置（OHC）や各AV機器（DVDデッキ・VHSデッキ）からの映像をプラズマディスプレイに映し出すことができ、視覚効果の高い臨場感あふれる授業ができます。

■ ネガフィルムやスライドを映し出したい

→ネガフィルムやスライドはそのままOHCを使って映し出すことができます。メディアラボやデジタル教材作成室では、写真やフィルムの画像をパソコンに取り込み編集することができます。

※詳しくは、『RAINBOW GUIDE for Teachers』をご覧ください。詳しくは、情報システム課までお問い合わせください。



授業支援ツール

RAINBOWでは、WebCTというコース（科目）管理ツールを導入しています。電子掲示板、小テスト、オンラインシラバス、講義レジュメ掲載等の機能があります。

電子掲示板機能は、授業時間外、教室以外の場で学生とのコミュニケーションの場として活用されています。大規模講義では実現の難しい、質問や意見交換を行うことができ、相互に学びあう環境を実現します。また、講義レジュメ掲載機能では、学生が自宅のパソコンからでもダウンロードすることができるため、予習・復習に活用することができます。



QRコード

教育IT化の支援策の一つとして、QRコードを利用した出席・小テスト管理システムを構築しています。科目を担当する教員の負担を増やさずことなく出席管理を導入することを可能とし、成績評価を多様化させ、日常点評価を含めたきめ細やかな評価を実現することを目指しています。

この取組みは、学生の学びの動機付けを高めることに繋がることも期待されています。

＜利用方法＞

出席・小テスト時、学生にQRコードを用紙に貼るよう、指示します。＊1

QRコードシールの貼られた答案を情報システム課にお持ち下さい。読み取り作業は通常、出席4日後、小テスト3日後に完了いたします。＊2

処理されたデータを管理することで、日常評価点を含めた、きめ細かな評価が可能になります。

- ＊1 学生には、QRコードシールが配布されております。
- ＊2 作業期日詳細は、下記にお問い合わせの上で確認下さい

利用方法の詳細等・お問い合わせは、教育開発支援課・情報システム課まで。



視聴覚資料・機材の貸出サービスを行っています

視聴覚資料

教室のマルチメディア環境をより活用した授業を行っていただけるよう、VHS、DVD、カセットなどの視聴覚教材の貸出サービスを行っています。本学では、1万点以上の視聴覚教材を保有しており、語学関連の教材や映画など多様な教材をそろえていますので、ご活用ください。特にDVDは映像の頭出し機能に優れているので、授業で活用する際に便利です。

視聴覚資料をご利用になりたい方は、情報システム課（視聴覚窓口）までお越しください。

視聴覚資料一覧を Web でご覧いただけます

「立命館大学ホームページ」→「図書館」→「視聴覚資料一覧」

※他キャンパスから資料を取り寄せることもできます。取り寄せにはお時間をいただきますので、ご了承ください。なお、資料保管キャンパスは、「視聴覚資料一覧」にてご確認ください。



貸し出し機材の例

視聴覚機材

ノートパソコンやデジタルカメラ、デジタルビデオカメラなどの視聴覚機器の貸出サービスを行っており、教材作成のための情報収集や授業風景の撮影などに活用いただけます。利用を希望される場合は、情報システム課までご相談ください。

コンテンツ作成にご活用ください

メディアラボ

○ 地上放送や衛星放送などの番組を録画して、教室で学生にみせたい

→メディアラボでは、さまざまな番組の録画を行うことが可能です。



○ ダビングしたい

→VHSテープやminiDVテープに記録した映像をDVDにダビングできます。



また、カセットテープを同時に複数本ダビングすることも可能です。



▲メディアラボ

デジタル教材作成室

自分で撮影・録画した映像や音声、フィルムやスライドをパソコンに取り込み、編集することで、独自の教材を作成することができる「デジタル教材作成室」を整備しています。画像を合成したり、動画に音楽を挿入したりすることも可能です。



▲デジタル教材作成室の動画編集できるパソコン

2. 2006年4月からのRAINBOW新環境

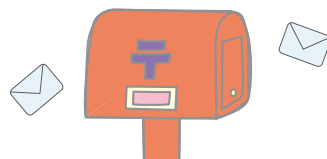
2006年4月からRAINBOW サービスが一部変更となります。

非常勤講師の方々のメールアドレスの学部ドメインを統合します

※学部ドメインとは、メールアドレスの@の後ろにくる部分です。

ユーザー ID@*.ritsumeai.ac.jp

現在は、所属する学部・研究科の学部ドメインでしたが、「pl」という学部ドメインに統合いたします。



所属変更に伴ってドメインが変更になります

2005年度までは、所属する学部・研究科を異動しても、立命館大学に初めて着任されたときの所属学部・研究科のドメインでしたが、2006年4月以降は、異動に伴って、学部ドメインが変更となります。なお、すでに所属する学部・研究科が、着任時と異なる教員の方も学部ドメインが変更となります。詳細につきましては、別途メールでご案内しておりますのでご確認ください。

■移行措置

2006年度の1年間は、旧アドレスに届いたメールを新アドレスに転送します。旧アドレスでこれまでに送受信したメールは、新アドレスで閲覧可能です。なお、2007年度以降は、所属変更後2ヶ月間、旧・新アドレスの平行利用を可能にし、ユーザ各自で送受信したメールの移行を行っていただきます。

フルドメインをつけてメール送信を行ってください

メールアドレス中の@（アットマーク）以下の部分（ドメイン）が自分と異なる相手に送信する場合、相手のメールアドレスを完全に入力して、メール送信を行ってください。
（※RAINBOWメール内の同ドメイン同士では今まで通りユーザーIDのみで送信が可能）

例 Aさん（法学部）atarou@law.ritsumeai.ac.jpから
Bさん（経営学部）bsaku@ec.ritsumeai.ac.jpに送信する場合
・送信できる：相手のメールアドレスを完全に入力する ○bsaku@ec.ritsumeai.ac.jp
・送信できない：ユーザーIDのみ ×bsaku
アドレスが一部間違っている ×bsaku@ritsumeai.ac.jp
（学部ドメインが未入力）

■移行措置

2006年度の1年間は、相手のメールアドレスが、ユーザーIDのみ、学部ドメインが未入力の場合でもメールの送信が可能です。

メール機能のサービスが充実します

2006年4月から、携帯電話からメールの利用が可能になります。

ドコモ用 →URL:http://webmail.ritsumeai.ac.jp/i/
au、ソーカー用→URL:http://webmail.ritsumeai.ac.jp/ez/index.html
ボーダフォン用 →URL:http://webmail.ritsumeai.ac.jp/j/

また、転送機能が充実し、英語対応も可能になります！
これら機能の向上にとともに、一部画面デザインが変更されます。

▼転送機能

フィルタリング機能にて別のメールアドレスへ転送する場合、Webmailの受信BOXにもメールを残すことができるようになります。

▼英語対応

Webmailのログイン画面で、言語の選択（日本語・英語）ができるようになります。英語を選択すると、機能ボタン等を英語表記にカスタマイズすることができます。



ホームディレクトリ、教材フォルダの容量が増えます

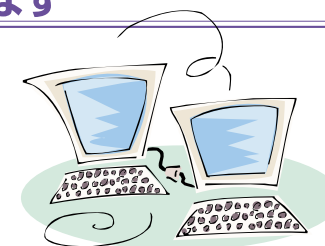
個人のホームディレクトリ、教材フォルダの容量が増えます。

【ホームディレクトリ】

	旧		新
教員	80M	→	200M
学部学生	15～40M	→	50M
大学院生	40M	→	100M

【教材フォルダ】

旧：50M → 新：500M



教材フォルダとは、教員と学生が共有して使うことのできるフォルダです。教材フォルダは学内の情報教室だけでなく、個人研究室やマルチメディアルームからもアクセスできますので、授業の時間以外でも、課題の提出や教材の配布を自由に行うことができます。
※教材フォルダを利用するためには申請が必要となります。また、年度を越えて教材フォルダを利用する場合は、継続申請が必要です。詳しくは、RAINBOW ホームページ「教職員向けサービス」内の「教材フォルダ」ページをご覧ください。

情報教室の端末台数が増えます

情報教室での授業における受講規模が増えている現状を考慮し、既存の情報教室の台数増設を行いました。端末が増設された教室は以下の通りです。

【衣笠キャンパス】

建物名	教室	現台数（定員）	増設台数	新台数（定員）
以学館※	21	80（75）	6	86（80）
洋洋館	984	40（35）	10	50（45）
	990	40（35）	10	50（45）

※以学館のスクナは増設なし。

【びわこ・くさつキャンパス】

建物名	教室	現台数（定員）	増設台数	新台数（定員）
プリズムハウス	26	76（70）	14	90（85）
	32	76（70）	14	90（85）
	33	76（70）	14	90（85）
	34	76（70）	14	90（85）
コラーニング	21	108（100）	12	120（115）
	22	108（100）	12	120（115）
	31	108（100）	12	120（115）
	32	108（100）	32	140（135）

2006年度末、PPP接続サービス終了のお知らせ

PPP 接続サービスは2007年3月をもってサービスを終了いたします。今後は、学外からの接続はVPNに一本化していきます。ご理解・ご協力をお願いいたします。

2006年4月からのRAINBOW新環境について、RAINBOW ホームページにて詳しくご案内しております。

アクセス方法：

「RAINBOW ホームページ」（URL）http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/mr/i-system/ → 「お知らせ」